

三つの風便り

戦争の思い出は ここにある

この土地の中で吹きあれた

争い事は沖縄の空中をかけ回る

「生きていてくれ」

「皆、はなれちゃいけないよ」

月桃の花が赤い風に吹かれて飛び散っていく。

雨のように振りそそぐ爆弾

蟻達のように逃げ回る人々のさけび声。

「美ら海が 泣いている」

「美ら海が 血に染まる」

六月二十三日の風が 全ての時間を止める

六月の風は 全てをうばう なみだ風

あれから七十一年が過ぎ この風は平和の風
へと変化した

初夏の香りが 一面に広がる青空

平和の風は、 青空で遊び森をゆらす

葉っぱがおどり キジムナーは木々の中をか
けめぐる

「よかったね。」

「みんな平和が大好きだ。」

やさしい風は 月桃の花を白く輝かせ人々を
笑顔にさせる

平和の風は 生きるための 笑顔風

今年も水無月が やってきた

元気な風を連れて やってきた

私の風を吹かそう

あなたとともに

うるま市立安慶田小学校 六年 上 間 鈴 華

これから世界中へむけて

生き物の喜びや 人々の笑顔が 地球を包む

あなたの風は どんな風ですか。

人と人 国と国 生きている物達を 見つめ

ていますか。

私とあなたはきつと

温かい手と手をつなぐ 未来風